

言葉をこえて、
たしかにぼくらは愛をみつけた

地球で最後のふたり

LAST LIFE IN THE UNIVERSE

受賞

第60回
ベネチア国際映画祭
主演男優賞
浅野忠信

監督

ベンエグ・ラッタナルアーン

『6IXTYNIN9』『わすれな歌』

撮影

クリストファー・ドイル

『HERO』『インファナル・アフェア』

主演

浅野忠信

『アカリミライ』『座頭市』

FORBES FILM FESTIVAL PRESENTS A BOHEMIAN / CINEMASIA PRODUCTION OF A FILM BY PEN-EK RATANARUANG ASANO TADANOBU IN LAST LIFE IN THE UNIVERSE WITH SINITTA BOONYASAK LAI LA BOONYASAK MATSUSHIGE YUTAKA TAKEUCHI RIKI MIKE TAKASHI SCREENPLAY PRABDA YOON PEN-EK RATANARUANG DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY CHRISTOPHER DOYLE (HKSC) PRODUCTION DESIGN SAKSIRI CHUNTRANGSRI SOUND AMORNHONG METHAKUNAVUDH EDITOR PATAMANADDA YUKOL MUSIC SMALL ROOM HUALAMPONG RIDDIM EXECUTIVE PRODUCERS ARAI YOSHIKIYO CHAROEN IAMPUENGPORN MEILEEN CHOO MICHAEL J. WERNER FRAN RUBEL KUZUI KAZ KUZUI ASSOCIATE PRODUCER AIHARA HIROMI PRODUCERS NONZEE NIMIBUTR DUANGKAMOL LIMCHAROEN WOUTER BARENDRECHT DIRECTED BY PEN-EK RATANARUANG

原題: LAST LIFE IN THE UNIVERSE 提供: ジェネオン エンタテインメント、クロックワークス 配給: クロックワークス 宣伝協力: ミラクルハウス
原作: ソニー・マガジンス 後援: タイ国政府観光庁 協力: YOSHIDA&CO., LTD. 監製: BOHEMIAN CINEMASIA FORTISSIMO FILMS Geneon KLOCK WORKS PHILLET Agnès

www.klockworx.com/chiky

不思議でおかしく、そして優しく破壊力を持った、 可愛らしいラブストーリーの傑作!

(Film Comment)



北野武、是枝裕和、黒沢清と日本のありとあらゆる映像作家に愛されている浅野忠信の演技は必見。まったく対極の人生を送ってきたタイ人女性ノイと惹かれ合う演技には引き込まれてしまう。
(VARIETY)

出会いの可能性と男女の調和について、静かに優しく描いている。
(Village Voice)

浅野忠信は、この映画で真のスターダムに登りつめた
(TIME)

タイと日本、無秩序なまでに奔放で勝気な女と病的に几帳面で潔癖症な男。
なにもかもが違う、出会うはずのなかったふたり。
狭いようで広いこの地球上で、その愛は確かに生まれた。

タイの日本文化交流センターで働くケンジ（浅野忠信）は、真夏の暑い日にも関わらず、糊の利いた長袖のシャツにしわ一つないパンツ姿。その神経質そうな外見の通り、センター内の図書館で本の整理に余念がない。もうすぐタイから日本へと旅立つノイ（シンター・ブンヤサク）。くわえタバコで、乱暴な言葉遣い、いつもイライラとした表情、まるで行き先のわからない感情を持って余しているようだ。ふたりはお互いの妹、兄の死がきっかけで出会い、奇妙な成り行きで一緒に暮らすことになる。「知っているタイ語は?」「コンニチハ、アリガトウ、1、2、3、4...」、「兄弟は?」「兄が。死んだけど」「私の妹も死んだ。似た者同士ね」カタコトの英語と日本語とタイ語。ふたりはつたない会話を繰り返し、少しずつお互いを知り、心を近づけ、恋に落ちていく。だが幸せな時間も東の間、ノイが日本へと発つその日がやってくる。

浅野忠信 ベネチア国際映画祭<コントロコレンテ部門>主演男優賞受賞の快挙!
アジアの才能が結集した奇跡のコラボレーションが、映画の新しい可能性と未来を切り開く。

タイ映画界の新時代を担う才能の一人、ベンエーグ・ラッタナルアーン監督と、ウォン・カーワイやチャン・イーモウなどアジアを代表する監督に美しい映像を提供し続けているクリストファー・ドイル、その独特の存在感で多くの監督たちを唸らせ、今や日本映画界を代表する俳優となった浅野忠信という、国境を超えた3人の刺激的なコラボレーションで作上げられた『地球で最後のふたり』。共同脚本を努めるのは、タイの若者のカリスマ的存在である作

家ブラーブダー・ユン。そして脇を固めるのは竹内力、三池崇史といった異色の面々。国やフィールドを超えたコラボレーションは、映画をこれまでにない魅力を持った素晴らしいラブストーリーへと昇華させた。“最も注目されるアジアのジョニー・デップ”と海外のマスコミから高い評価を受けた浅野忠信は、本作品においてベネチア国際映画祭コントロコレンテ部門・主演男優賞を受賞。自身初の海外映画祭での受賞となった。



原作小説:『地球で最後のふたり』ブラーブダー・ユン著 ソニー・マガジンスより5月下旬発売予定

地球で最後のふたり

LAST LIFE IN THE UNIVERSE

2003年/タイ・日本・オランダ・フランス・シンガポール/107分/アメリカンビスタ/Dolby-SR, SRD 原題:LAST LIFE IN THE UNIVERSE/字幕翻訳:松浦美奈 提供:ジェネオン エンタテインメント、クロックワークス GENEON KLOCK WORKS

2003年ベネチア国際映画祭 コントロコレンテ部門最優秀主演男優賞（浅野忠信）受賞作品
2003年トロント国際映画祭正式出品作品、2004年ロッテルダム映画祭正式出品作品

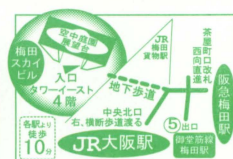
監督:ベンエーグ・ラッタナルアーン(『6IXTYNIN9』『おすれな歌』) 撮影:クリストファー・ドイル(『HERO』『インファナル・アフェア』)
出演:浅野忠信、シンター・ブンヤサク、ライラ・ブンヤサク、松重豊、竹内力、三池崇史

※各回入替制。途中入場はご遠慮ください。
※毎土・日・水曜日、祝日および映画サービスデー(毎月1日)は混雑状況にかかわらず入場整理券を発行します。

梅田スカイビル(空中庭園)タワーイースト4F

梅田ガーデンシネマ

06-6440-5977 www.cineplex.co.jp



恋が生まれるまでの至福の物語

9月、ロードショー

上映スケジュールは劇場にお問合せください

特別前売ご鑑賞券1500円(当日一般1800円)好評発売中!

* * 劇場窓口にてお買い上げの方へ先着限定でオリジナル・ポストカードをプレゼント! * *